

山口日独協会ニュース

Neuigkeiten der Japanisch-Deutschen Gesellschaft Yamaguchi

Nr. 130, Juni 2017

山口日独協会 〒753-0083 山口市後河原94
Japanisch-Deutsche Gesellschaft Yamaguchi:
Ushirogawara 94, Yamaguchi, 7530083, JAPAN
TEL/FAX : 083-920-2965
<http://www.jdg-yamaguchi.jp/> info@jdg-yamaguchi.jp

協会からのお知らせ

1 第15回山口国際交流芸術祭(共催)のご案内

山口国際交流芸術祭は、山口県内のヨーロッパ関係の国際交流団体(山口 EU 協会、日独協会、日英協会、ナバラの会、日本フィンランド協会、日伊協会 YOVe' ST 山口)等が共同で開催し、ヨーロッパの文化、芸術を紹介しています。コンサートでは、ヨーロッパ音楽をお届けします。2部のオーボエソロは、日独協会会員の富田博之さんです。3部では、ヘンデル:オラトリオ「メサイア」合唱曲抜粋です。過去4年間取り上げてきた集大成です。映画では、井竿富雄さん(山口県立大学国際文化学部教授)のトークもあります。

本格的な夏を前にした緑深い季節、山口県立大学の森を背に、またパークロードの木陰で、ヨーロッパの文化、芸術をお楽しみ下さい。

チケットは、上原理事長またはプレイガイドでどうぞ。

内容の概略は、以下のとおりです。詳細は同封のチラシをご覧ください。

*Event 1. 「西洋音楽発祥の地山口～ヨーロッパ特集コンサート」

- ・日時: 7月8日(土) 15:00～17:00、・場所: 山口県立大学講堂(桜園会館)
- 1部(ピアノ独奏)～ロマンチック名曲集 ピアノ: 手嶋沙織
- 2部(協奏曲)～モーツァルト: オーボエ協奏曲 オーボエ: 富田博之
- 3部(コーラス・オーケストラ)～ヘンデル: メサイア・コーラス曲抜粋
- 指揮・指導: 清水宏之
- 山口国際交流芸術祭合唱団・管弦楽団(一般市民・学生からの公募により編成)
- ・料金: 前売り～ 一般¥1,000(大学生以下¥500) *当日共に¥200増

*Event 2. イギリス映画「未来を花束にして」の上映

(2015年/英語(日本語字幕)/106分)

- ・日時: 7月29日(土) 3回上映、・場所: 山口県教育会館
- ・内容: 1912年ロンドン—これは、女性の参政権を求めて立ち上がった“名もなき花”の、真実に基づく物語です。
- 監督: サラ・ガヴロン
- 出演: キャリー・マリガン、ヘレナ・ボナム＝カーター、ベン・ウィショー、メルル・ストリープ
- ・料金: 前売り～ 一般¥1,500(大学生以下¥1,000) *当日¥300増

<チラシを同封しています>

2 行事のご報告

(1) リンデンバーム・ピクニック

5月21日(日)11時30分から、今年も天候にめぐまれ、山口市亀山公園山頂の菩提樹の下にて開催しました。菩提樹は、日独交流150周年記念の友好のあかしとしてドイツ連邦共和国大使館より、山口には2本寄贈されたものです。1本は、誤って枝がおられましたが、現在2本とも順調に育っています。山口市では、29,30年度で亀山公園の大規模整備事業が行われます。菩提樹も適切な場所に移築をお願いしています。

弁当は各自持参、飲み物はドイツワイン、ソフトドリンクを日独協会でご用意し、約2時間のピクニック、お話を楽しみました。会員の柳屋昭さんが、ピクニックでは菩提樹をクリスマス会・総会ではドイツの歌をよく歌って頂いていました。柳屋昭さんは、4月に急逝されました。ご冥福をお祈りします。



3 今後の行事ご案内

(1) 「ドイツワイン鑑賞の宵(酔い)」

ドイツのトリアーからアドルフ・シュミットさんが、7年ぶりに来られモーゼルワイン試飲会を開催します。毎年お願いしていましたが、ようやく今年実現する事ができました。詳細は、次回の会報でお知らせします。日程と開催場所は決まりましたので、ご報告します。お時間調整しておいてください!

- ・日時：9月16日(土)18時～
- ・場所：山口市 湯田温泉ユウベルホテル松政

(2) 自作朗読会

朗読会も久しぶりの開催です。11月上旬、山口市菜香亭の開催で調整しています。こちらも細は、次回の会報でお知らせします。

(3) Deutsches Fest(ドイツ祭)

毎年、山口市一の坂川周辺で行われているアートフル山口に併せて開催しています。今年から一日のみの開催となりました。10月8日(日)に行われます。

*お問合せは、各理事か上原理事長へご連絡をお願いします。メールでも結構です
上原 (TEL:083-920-2965,090-5269-4941・メール:info@jdg-yamaguchi.jp)

4 会員の皆さんからの投稿、情報提供

(1) 会員の大牟田樂子さんからの投稿です。前回の続き「私のドイツ留学記②」を次ページに掲載しています。

(2) 映画「日本と再生」の上映&トーク

日時：7月29日（土）10時30分～、14時00分～、

場所：本願寺山口別院会議室（山口市小郡花園町3-7）

参加費：1,000円（当日1,200円）

1回目上映後と2回目上映前に、監督河合弘之さんのトークもあります。

<チラシを同封>

(3) 「歌とピアノと現代美術の響演」

日時：9月2日（日）14時30分開場、15時開演

場所：秋吉台国際芸術村（美祢市秋芳町秋吉50番地）

出演：ソプラノ；林満理子、ピアノ；友清祐子、現代美術；澤登恭子

料金：前売り～一般¥3,500（大学生以下¥2,000）*当日共に¥500増

連絡先：日独協会会員曾田元子さん（Yan 山口アートネットワーク(090-9504-5526)）

山口日独協会も後援しています。

<チラシを同封>

(4) 「合唱オペラ中也！」

日時：9月10日（日）15時30分開場、16時開演

場所：山口市市民会館

内容：台本・演出；佐々木幹朗、作曲；西村朗、指揮；栗山文昭、ピアノ；浅井道子 ほか

<チラシを同封>

(5) 能のカタチ in 山口特別公演「船弁慶」

日時：10月9日（月）13:00～16:00

場所：野田神社能楽堂

料金：前売り～指定席¥6,000・自由席4,000・学生以下自由席¥2,000）*当日共に¥500増

<チラシを同封>

<会費納入のお願い>

会費：法人；10,000円、一般；2,000円、家族；1,000円、学生；1,000円

本年度会費未納の方は、納入をお願いします。

山口銀行の場合、皆さんの通帳からATMを利用されると振込手数料は無料です。

【会費納入方法】

振込先：郵便局 口座番号；01550=9= 26140 加入者名；山口日独協会

山口銀行県庁内支店 口座番号；6171166 加入者名；山口日独協会

*お問合せは、各理事か上原理事長へご連絡をお願いします。メールでも結構です
上原（TEL:083-920-2965,090-5269-4941・メール:info@jdg-yamaguchi.jp）

私のドイツ留学記。 ～ドイツで日本語を学ぶ人たちに会って～

お久しぶりです。大牟田樂子です。今回は、ドイツに留学した経緯と、私が一年間暮らしたデュイスブルクという町の紹介をさせていただきました。今回は、2回に分けて私の留学中の活動についてご紹介します。

(1) 日本語ティーチングアシストとして

前回、私は日本語の教育実習助手（日本語ティーチングアシスト）として一年間留学してきましたとお伝えしました。なので、詳しくいうと交換留学などで取得する学生ビザではなく、ワーキングホリデービザでドイツに行ってきました。ワーキングホリデービザは、ドイツの場合だと申請料も無料だったのでとてもよかったです。(笑)

では、日本語ティーチングアシスタントの活動についてお話します。



私が行ったギムナジウムは、学校の科目の中に日本語がある学校で、日本の高校1年生に当たる、10年生から最高学年である12年生までが日本語の授業が取れるようになっていています。10年生のクラスは1クラスで、11年生、12年生は2クラスずつあります。午前中に実習に行ったギムナジウムの生徒の日本語の授業があり、夕方からは、近隣のギムナジウムに通っている、日本語を学びたい生徒のための日本語の授業がありました。午前中に2～3クラス、夕方に1～2クラス、合計1日3～5クラスの授業を行っていました。私がお世話になった先生という、他のギムナジウムからも日本語の授業をしてほしいとお願いされて、午前中に1クラス、別のギムナジウムで日本語の授業を行っていました。(私は実習の内容には組み込まれなかったのですが、現在ドイツにいる後輩は行っているようです。朝の7時30分からの授業です...)

そしてティーチングアシスタントという、基本的には授業を行う先生の授業補助、教材制作補助などのアシスタント活動がメインでした。授業補助は、宿題の添削やテストの採点などで、教材制作は、授業で使うひらがなやカタカナ、漢字のカードを作ったり、練習プリントを作ったりしました。

そして私が企画したプロジェクトが、生徒たち一緒に映像を制作する、映像制作プロジェクトでした。写真に写っている2人が、私と一緒にプロジェクトを行った10年生の2人です。私自身高校時代から、部活や学生スタッフで映像制作を行ってきっていて、卒業制作のテーマも「地域文化を発信する映像制作」でした。特に、地域文化・異文化を映像を使って発信するというのが、どうしてもやりたいことだったので、企画し実際にやりました。

ギムナジウムでの映像制作プロジェクトは、12年生で「日本文化を紹介する」、10年生で

「Duisburgを紹介する」の2つを実施しました。12年生には「自分たちが学んできた日本語・日本文化を日本を知らない人に伝える気持ちで！」と伝えて、映像制作に取り組んでもらいました。わからないことはわからないとはっきり言ってくれる子達だったので、私も手助けしやすかったのを覚えています。2クラスある12年生のクラスで、それぞれのクラスで1つずつ作品を制作しました。

そして10年生の2人と行った「Duisburgを紹介する」というプロジェクトは、「自分たちの住んでいる地域を再発見してほしい」と思って設定したテーマです。なので、調査や、博物館などにインタビューするなどの活動がメインになり、そして彼らにとって最大の課題が、日本語・ドイツ語で原稿を作成、またインタビューを日本語に翻訳することでした。制作した作品は、山口のケーブルで放送するのが決まっていたため、15分の作品になるように原稿や日本語翻訳を作成しました。途中、言い合いになることもありましたが、お互いが納得できるように話を聴き合い、話し合いをして、無事プロジェクトを終えることができました。終わってから生徒に「部活みたいで楽しかった」「住んでいる町のことをよく知らなかったから、ちゃんと知ることができてよかった」と言った意見をもらうことができたので、本当に嬉しかったです。

今回はギムナジウムでの日本語ティーチングアシスタントについて紹介しました。次回は、ハーフの子供たちの日本語教室での活動についてご紹介いたします。